

# 令和4年度 きのくにコミュニティスクール座談会（すさみ町）

日時：令和4年12月14日（水）13：30～15：30  
会場：すさみ町多世代交流施設E' coraーイコラー  
参加者：26名

「学校・家庭・地域の協働～子供の成長を支える活動～」



県CSマイスター  
伊藤 松枝 氏  
那智勝浦町  
絵本の会「よむよむ」代表

県CSマイスター  
上田 さとみ 氏  
湯浅町 訪問型家庭教育支援チーム  
「とらいあんぐる」代表

いつ頃から地域での読書活動に関わり始めましたか？



「よむよむ」は今年で発足25年になりました。発足当時のスローガンは「誰もが参加できる読み聞かせの場を！」でした。

いつ頃から家庭教育支援に関わり始めましたか？

保育所長退職の年に当時の湯浅町教育委員会指導主事に声をかけられました。「学校だけでは対応できないこともあるので、地域の人と役割分担しながら子供を育てたい。」という指導主事の思いを受け止めました。



活動される中での苦労はありますか？



苦労と思ったことはありません。どれも自分の中で必要だったことのように思います。本を開いてゆっくりページをめくることや人と向き合う時にゆっくりとした速度で考えることをこれからも大事にしたいなと思います。

そんなに苦労はありません。どんな時もポジティブに考えていくようにしています。自分が落ち込まないように色々なところで気分転換しながら取り組んでいます。



# R4.12.14 PM1:30~ R4年度県CSマイスター座談会 @ イコラ(すま町)

〈伊藤 弘〉 那智勝野 図書館を  
撮...

・読みかせ"よはは"  
→子どもが大人に本を読む場所  
・ブックスタート+赤ちゃんと親を幸に...  
・みんなが楽しんでおられるように! 『かまのうた』  
△苦学はあまた、自分が知る事が多かった。

〈上田 弘〉 湯浅町 地域を撮...

・家庭教育支援  
→チームによる家庭の支援  
・訪問型... 3期1度全戸訪問  
・訪問は『関係づくり』を第1に! よこそ  
気持ちは楽々...  
福祉と教育の連携  
△苦学は感じない、活動を楽しんでいる

キーワード  
つながり

① よこそ子供を育てる地域を自分と育てる  
② 子どもが幸せに育つ地域を自分から作る

- Q 今の活動を楽めていますか? (上田→伊藤)  
A. Yes 13名  
↳ 長続きするエピソード!
- Q 昔のつながりがありますか? (伊藤→上田)  
A. 子守り歌やわらわら歌は加齢  
↳ 生きる上でのメッセージ!
- Q 本当は何をしたかった? (上田→伊藤)  
A 女刑事
- Q 大変なお母さんになる魔法の言葉は?  
A ない、教えたい。(伊藤→上田)
- Q 現状維持で"OK"、今も変わりない?  
A 変わりない、よこそ支援のうねり。
- Q 印象的だったことは?  
① レイコ・マスタグ ② 困ったときのより所
- Q 本を好む子には?  
A 愛情を含めて読む
- Q ITとの兼ね合いは?  
A 本ならではの情報
- Q どの大人に?  
A 社会のつながり  
今と未来どうおぼ? (バックキャスト思考)
- Q コロナ禍で変わった?  
A 虐待とDV  
活動は続けた。
- Q オペラ相談は?  
A ない、関係づくり  
を目的に訪問。

すまの  
の配布

お2人への  
質問

## 参加者の声

- ・本に関わるお話に沢山ヒントをいただきました。自分の地域ではどのように行っているかを考えていきたいです。
- ・私は年寄りだけど、もう少し私もできることをしていきたいと思いました。
- ・会場も素敵などころで楽しかったです。仕事というよりは、一保護者として勉強になることばかりでした。印象的な言葉としては「現状維持であれば御の字」です。
- ・お二人とも自分の活動を楽しんでポジティブにとらえているなと思いました。ほかの人の悩み事も自分のこととして考え、良い方向に向かえるように支援につながっていると思いました。
- ・支援は支援者のエゴ。現状維持ができれば◎。という言葉が心に響きました。
- ・何かを始める時、自分には出来ないなと消極的になることが多いのですが、長く続けていけば分かってくれることが多いと聞き、納得できました。
- ・考えを押し付けない、今より悪くならない状態で良いとの心がけで取り組んでいるという言葉が印象に残り、心が楽になりました。

